

イグザミナー認定規定

1. 目的

この規定は、全日本インラインスキー連盟(以下「連盟」という)定款第2章第5条(3)・(4)及び第3章第6条に基づき、Top Instructor、Advance Instructor、First Instructor取得受験者への指導、検定、講習を担当するイグザミナーを認定するためにこれを定める。

2. 認定会実施内容

Super Examiner及びExaminerのイグザミナー認定会を以下のように定める。

(1) 認定内容

基礎理論(アナリシス含む)、実技の総合判定とする。

(2) 実施

毎年1回以上、**連盟または、教育部が認めた団体の主催で実施する**。開催時期、開催場所は、年度初めの事業計画にて明示する。

(3) 検定員

会長から委嘱された、スーパーバイザー及びSuper Examinerがこれに当たる。

イ. Super Examiner : スーパーバイザー。

ロ. Examiner : スーパーバイザーまたはSuper Examiner。

(4) 会期

イ. 原則として、基礎理論と実技講習を同会期(2日間)に実施する。

ロ. 実施計画の詳細については、参加者数、天候状況、その他特別の事情があるときは、これを変更することができる。

(5) 参加資格

認定会が開催される年の4月1日現在、満20歳以上(高校在学者は除く)の者で、各項に該当する資格を有する者**(資格停止者を除く)**。

イ. Super Examiner : Top Instructorを取得している者。

ロ. Examiner : Advance Instructorを取得している者。

(6) 認定会参加手続

イ. 所定の申込書をメール、ファックス、電話または郵送にて連盟に請求する。

ロ. 所定の申込書(写真<所定の箇所>を含む)をメールまたは郵送にて送付する。

ハ. 受講料を振込または現金書留にて納付する。

ニ. 受講料の有効期間は、申込日より1年以内とする。ただし、理由の如何を問わず受講料の払い戻しはしない。

(7) 参加料

下記の参加料は、¥17000(講習料及び施設使用料<¥10000>、1泊2食)で、参加申込み時に納付しなければならない。

(8) 認定の手続

イ. 認定対象者は、資格認定料を納付しなければならない。ただし、事情のある場合は、発表後30日以内に限り、納付期限を延ばすことができる。

ロ. 会長は、合格した者に認定証及び会員証を交付する。

(9) 資格認定料

イ. Super Examiner : ¥8000

ロ. Examiner : ¥7000

(10) 結果の手続

イ. **教育部が認めた認定会主催団体は、認定会実施の結果を所定の報告書に記入の上、検定委員長に報告する。**

ロ. 検定委員長は、認定会実施の結果を所定の報告書に記入の上、教育部長に報告する。

ハ. 教育部長は、認定会の結果を、理事会に報告する。

(11) 講習料と認定料の納付

教育部が認めた認定会主催団体は、講習料の一部と認定料を連盟に1週間以内に納付しなければならない。期限内に納付が出来ない場合は、事前にその旨を連絡する。

イ. 講習料: 1人参加につき¥2000(一律)

ロ. 認定料: 全額

3. 認定会実施要綱

Super Examiner及びExaminerのイグザミナー認定会実施要綱を以下のように定める。

(1) Examiner 認定会

イ. 基礎理論<2>

講習科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- First Instructor 及び Advance Instructor の検定会集合講習、基礎理論、アナリシステスト及び実技検定確認
- インストラクターズクリニック実施内容確認

ロ. 実技講習<12>

講習科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- スケーティング技術からストップ技術
- クロススケーティング
- スウィズルからスウィズルターン2への展開
- スウィズルターン3
- パラレルターン <ベーシック要素>
- ロングターン <コントロール要素/カービング要素>
- ショートターン <ベーシック要素/コントロール要素/カービング要素>
- 総合滑走 <コントロール要素/カービング要素>

(2) Super Examiner 認定会

イ. 基礎理論<3>

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- すべてのインストラクター検定会集合講習、基礎理論、アナリシステスト及び実技検定確認
- Examiner 認定会基礎理論及び実技講習確認
- インストラクターズクリニック実施内容確認

ロ. 実技講習<10>

検定科目は次の通りとする。ただし、事情により変更することができる。

- スケーティング技術からストップ技術
- クロススケーティング
- スウィズルターンからパラレルターン<ベーシック要素>への展開
- ロングターン <コントロール要素/カービング要素>
- ショートターン <コントロール要素/カービング要素>
- 総合滑走 <コントロール要素/カービング要素>
- パイロンスラローム

(3) 実施の条件

すべてのレベルの斜面条件は、下記の通りとする。

- 安全に滑走することができる長さや幅を設定する。約長さ100m×幅15mくらいが望ましい。
- 安全に滑走できる傾斜を設定する。0~7%くらいが望ましい。
- 安全に停止することができる場所を設定する。停止場所が平坦であることが望ましい。
- がたつきの少ない、危険のない路面を設定する。